

和木小学校コミュニティスクールだより

緑の風



令和6年・4月号

ホーム <http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~wakisho/> E-mail wakisyo@sky.icn-tv.ne.jp

開校150周年の年、令和6年度の始まりにあたり



校長 河 口 龍 裕

美しくみごとに咲いた桜を目にし、春の訪れとともに新年度の始まりを実感しています。お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。子どもたちは、春休みを無事に過ごし、新たな学年への大きな期待感を持って登校してきたものと思います。本校は、今年度、開校150周年という記念すべき年を迎えました。子どもたちとともに150周年をお祝いし、これまでの歴史を在校生や保護者の皆様、地域の皆様と振り返り、次につなげる意義深い1年となります。

本年度は、52名の新入生を迎えて、全校児童385名、16学級でのスタートとなります。学校教育目標を「自分を愛し、ふるさとを愛し、心豊かにたくましく生きる和木っ子の育成」を掲げ、校訓「道を行うに誠実をもってせよ」を生かした学校づくりを進めます。教職員一同、子どもたちとともに「温かく楽しい学校」「みんなに愛される学校」「明るく美しい学校」を実現して参りたいと思います。

本年度の学校教育目標に「自分を愛し、ふるさとを愛し」という言葉を加えました。これは、山口県教育振興基本計画や和木町教育振興基本計画、本校の学校課題を受けて、「自尊感情の醸成」「郷土愛の涵養」等を土台にした教育を展開して和木の子を育てたいという思いから設定いたしました。子どもたちが主体的に活動するためには、それを後押しする自尊感情が必要です。日々の教育の中で「自己肯定感」や「自己効力感」を味わわせつつ子どもたちを伸ばしていきたいと考えます。「自己肯定感」は、自分はどんな時でもありのままの自分で大丈夫という自分への信頼を表し、「自己効力感」は、自分は頑張ればどんなことでもできるという自分への信頼を表しています。この2つがそろって自分自身に安心感を持ちながら様々な事に挑戦していく土台となると考えます。



子どもたちに自信を持たせつつ、教育を推進するためには、学校、家庭、地域の連携が必要です。どうか保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。和木小学校は、「和木っ子」の育成のために地域に積極的に学校を開き、「地域とともにある学校づくり」と「園小中一貫教育」をさらに進めて参りたいと考えております。学校教育に対して、ご意見やお気づきなどございましたらご遠慮なく学校までお寄せください。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

スクールキャラクターデザインへの応募ありがとうございました

開校150周年の年にあたり、令和5年度3学期から和木小のスクールキャラクターデザインの募集を行いましたところ、町内の皆様からたくさんの応募をいただきありがとうございました。

先日、開校150周年記念行事実行委員会の委員が厳正な審査を行い、スクールキャラクターのデザイン案が決定しました。

今後、デザインを考えてくださった方と相談しながらイラストのデジタル化して、なるべく早く皆様にデザインをお披露目したいと思います。また、150周年の広報等に活用して参りたいと考えております。皆様のご応募に重ねてお礼申し上げます。

